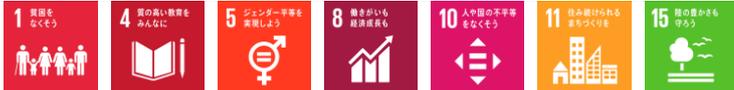


ふりがな 氏名	たにぐち まほ	都道府県	大阪府	
	谷口 真布			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪大学文学部人文学科 ・豊中こどもれもねいど 学生代表 			
私のESD活動	より良い市民のコミュニティーづくりと住み続けられるまちづくりを学生目線から提案			
関心・活動のSDGs				

活動の概要

私は聖心女子学院というカトリックのミッションスクールに小学校から12年間通い、社会貢献を常に意識して過ごしてきました。高校までは、学校と関係のある場所での限られたボランティアが多かったですが、大学では大学内だけでなく地元にも活動範囲を広げてきました。大学1年からNPOで貧困家庭の子供の学習支援に参加し、昨年度から「豊中こどもれもねいど」という活動に参加しています。この活動は、豊中市の子供たちがまちなかにある自然や仕事を遊びのように楽しむ大人に触れ、地元の魅力を知り、収益を市の子供に関する施設に寄付するチャリティー活動です。初の学生枠として「豊中魅力アップ助成金」という市と協働を目的に募集する助成金枠を獲得し、行政を巻き込みながら活動しています。

具体的には、地元産野菜の宣伝販売、休耕地での親子農作業体験や慈善活動を行い、豊中の社会問題を親しみやすく示すことで子供から高齢者まで多くの人に伝わるように活動しています。他にも、この活動を日本全国で知ってもらい、まちづくりに関わるきっかけとしてほしいという想いでクラウドファンディングを行いました。結果、情報を市外の学生や社会人にも届けることで地域活動の認知を広げ、目標金額を達成できました。現在は、この活動が地域活動の紐帯となり、より多くの市民や行政を巻き込んだ活動になるように関わりを広げています。

・「豊中こどもれもねいど」 <https://www.makuake.com/project/kodomolemoneid/>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

コンファレンスへ参加して吸収したことを地域活動にアウトプットしていくのはもちろんのこと、若者や主婦も関わっていただける地域活動の仕組みづくりを考えていきたいです。地元のNPOや豊中市での地域活動に関しては、現在は運営という肩書きを持つ人のみが、イベントやコミュニティーと関わることしかありません。その周辺にいる主婦や若者など中心とした一般市民も当事者意識を持ってイベントやコミュニティー作りをする側に参加する仕組みづくりを考えていきたいです。また、行政と連携することでより大きな影響を及ぼしながら、金銭的にも持続可能な活動に発展させていく方法を考えています。私の活動を含め、地域活動はその市内において閉鎖的になる傾向があるので、今回得た解決策や知識を活かした活動を常に発信することでオープンな街づくりをおこない、若者が地域活動に参加することのハードルを下げていきたいと考えます。持続可能な活動を目指して、コンファレンスでできた人脈を活かし、日本全土を巻き込みながら、ESD活動を発展させていくことができると考えています。